

# 知多半島サイクリングロード

Cycling Road Map

## 愛知県のサイクリングロード

急速な社会変化の中で、余暇の増大による野外でのスポーツ・レクリエーション活動、高齢化社会における健康づくりへの関心の高まり等が見られます。このような社会情勢に応じて、愛知県ではスポーツ・レクリエーションとしてのサイクリングが安全にしかも快適に楽しめる自転車道の整備を進めています。

**愛知県の大型自転車道 位置図**

田原豊橋自転車道  
豊田安城自転車道

## 知多半島サイクリングロードの概要

### 自然と歴史・文化のサイクルネットワーク

知多半島サイクリングロードは、武豊町と大府市を結ぶ延長31.1kmの半島縦断自転車道、愛知用水や河川、自動車専用道路沿いを利用し、自転車歩行者専用道路として整備しています。知多半島の豊かな自然、歴史、文化をつなぐ、人間交流の道として、「健康と長寿」の国際的拠点となるあいち健康の森をはじめ、地域に点在する名所旧跡や文化施設、公園、野外レクリエーション施設などのネットワークを考えてルートを選定しています。ぜひサイクリングロードを利用して知多半島の魅力を再確認してください。

路線名	一般県道 武豊大府自転車道線
事業区間	武豊町字橋田（一般県道大谷富貴線）～大府市吉田町（一般国道155号）
区間延長	31.1km
幅員	有効幅員3.0m

## 楽しいサイクリングのために

### 出かける前は？

- まずは自転車のチェック。ブレーキの動き具合、ハンドルのぐらつき、タイヤのすり減りと空気、点灯、チェーンのゆるみを点検しましょう。
- 服装は自由ですが、動きやすく、チェーンや車輪に巻き込まれないものが良いでしょう。

### 持ち物は？

- 水筒と地図は必需品です。
- 半日から1日の走行なら、絆創膏などの応急薬品、工具セット、軽食があると便利です。
- 荷物はザック等を背負うより、フロントバックをつける方が安全です。

### サイクリングのコツ

- 楽しいサイクリングのために、決して無理をしないことが大切です。30分に5分程度は休憩し、軽く体操をするなど、疲れを取りながら走りましょう。
- 自転車は、体や使用目的に合ったものを選ぶことが大切です。

### サイクリングのマナー

- スピードはひかえめに！
- 専用道路だからと油断せず左側通行を守り、歩行者に注意して安全運転を心掛けましょう。また、車が通る横断道路もあるので気をつけましょう。
- サイクリングロードはみんなの道です。気持ちよく利用できるようゴミやタバコのポイ捨ては止め、草木等を大切にしましょう。

## 知多半島サイクリングロード 標準横断面図

- 河川堤防利用区間
- 南知多道路併設区間

## 知多半島サイクリングロードの利用について

- レンタサイクルはありませんので、各自自転車をご用意ください。
- 自動車でお越しの際は、半田運動公園あいち健康の森公園の駐車場か、沿道の休憩所に設置されている駐車スペースをご利用ください。
- このマップでは知多半島サイクリングロード（一般県道武豊大府自転車道線）を走ることを前提に考えておりますが、一部整備中又は整備のため現状の道路を通行することもございます。自転車は道路交通法上「軽車両」に分類されますので、標識等で許可された歩道以外は車の左側を通行して下さい。

## 日帰りサイクリングをしよう

### 初心者でも余裕をもって走れる40～50km程度が最適プラン

知多半島サイクリングロード周辺には公園、史跡、博物館など見どころが多くあります。全行程を短めに設定し、コース途中の景勝地などでゆとりをもって行動できるようにすれば、サイクリングの楽しさが実感できます。

### 日帰りサイクリングに必要な装備

- ・着替え（下着、靴下）
- ・タオル
- ・ウインドブレーカー（防寒用）
- ・雨具
- ・地図
- ・携帯工具
- ・パンク修理セット
- ・カメラ
- ・ファーストエイドキット
- ・飲み物、簡易食料（糖分の補給）
- ・バック（着替えや地図、食料など入れる）

### 日帰りサイクリングの注意点

#### 水分の補給

失った汗と同量の水をまめに飲むことにより疲れを減少させることができます。特にミネラル類を多く含むスポーツドリンクを飲めば疲労防止にもなります。

#### 疲労の低下

疲労がたまるとうつろや集中力が大きく低下して、転倒、接触などの事故を起こしやすくなります。

#### ペース

8～10kmを1時間で走るペースを基本にすると、疲れの少ないサイクリングができます。

## 知多半島サイクリングロード

一般県道 武豊大府自転車道線

大府  
武豊

Cycling Road Map

●お問い合わせ先  
愛知県知多建設事務所 TEL: 0569-21-3231  
http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-somu/chita-kensetsu/

## おすすめルート紹介

### おすすめルート1

#### 自然を楽しむのにぴったり

#### 水と緑の愛知用水コース

約2km 所要時間：片道約10分

愛知用水沿いのルートを通って大堀線まで走行するコース。水と緑の豊かな自然を楽しむことができます。（一部区間は整備中です）

### おすすめルート2

#### のんびりサイクリングにぴったり

#### 矢勝川と新美南吉のふるさとコース

約5km 所要時間：片道約25分

半田運動公園をスタートし、矢勝川沿いのルートを通って新美南吉のふるさとをたどるコース。童話の舞台と秋には一面の彼岸花を楽しめます。

### おすすめルート3

#### 健康づくりにぴったり

#### 知多半島縦断コース

約9km 所要時間：片道約45分

半田運動公園をスタートし、南知多道路と並走して武豊インターまで走行するコース。緩やかな起伏のある自転車専用道路で、健康づくりを楽しめます。（一部区間は整備中です）

※所要時間は時速12kmで走行時の目安

## サイクリングロードの風景

大堀線道付近  
愛知用水沿い  
半田運動公園前  
県道半田常滑線沿い  
矢勝川沿い  
武豊インター（起点）

## 歴史と産業を楽しむ

## 歴史と産業を楽しむ

### 半田運河・蔵の街

半田の街を流れる運河沿いには、黒板囲いの蔵が残っており、現在も現役で活躍しています。白と黒のコントラストに彩られた蔵が水面に美しいたたずまいを映します。

### 博物館「酢の里」

半田は「かす酢」発祥の地。「酢の里」は日本唯一の酢の総合博物館です。江戸時代から現在までの酢づくりの歴史や製造工程などが見学でき、醸造酢の歴史と文化を探ることができます。

### 半田運河（十ヶ川）

### 博物館「酢の里」

## 歴史と産業を楽しむ

### 半田赤レンガ建物

この建物は明治の人々の職をうらやめた「カプトビル」の醸造工場として建設されました。約240万丁のレンガを使った、わが国屈指の規模を誇るレンガ建物です。

### 佐布里池「梅の館」

「佐布里池と花のふれあい公園」内にある「梅化」や「梅」に関する情報を広く紹介する参加体験型施設です。情報展示室、レストラン、売店、体験工房があります。

### 梅の館

## 健康づくりを楽しむ

充実したスポーツ施設と多彩な道具。子供からお年寄りまで、みんなで健康づくり。

## 半田運動公園

知多半島のスポーツの拠点として、陸上競技場やテニスコート、約20種類の遊具が人気のちびっこ広場など、家族グループで一日たっぷり楽しめる総合運動公園です。

### ちびっこ広場

### 陸上競技場

### 半田運動公園

## あいち健康の森公園

約52.1haもの広大な敷地には、健康科学館や健康宿泊館などがある健康プラザを始め、大芝生広場やテニスコートなど、子供からお年寄りまで楽しめる多彩な施設が整備されています。

### あいち健康の森公園

### あいち健康プラザ

## 歴史と産業を楽しむ

### 醸造業で栄えた半田の昔日の面影を感じさせるまちなみ、一面に広がる梅林の中で伝統の枝にふれる。

## 花のある風景を楽しむ

### 佐布里池（梅林）

丘陵の谷を利用してつくられた人工池です。梅の名所として知られ、池周辺には約4,600本の紅梅、白梅の花が咲きます。「佐布里池と花のふれあい公園」や「水の生活館」といった施設が充実しています。

### 大倉公園（つつじ）

長いときを経た濃い緑な樹々、心地良い音をたてる水の流れ、一休みできるあづまや、日本庭園として四季を彩る花などが美しく咲き誇っています。特につつじの花の季節はつつじ祭が行われ、多くの人が訪れる名所となっています。

## 花のある風景を楽しむ

### いっちょうだしっち 竜町田湿地（湿生植物）

シロバナナガバノイシモチソウやヒメミカグサなどの7種類の希少昆虫植物の他、多種多様な動植物が生息しています。県の天然記念物に指定されており、夏から秋にかけての数日間一般公開されます。

### 花かつみ園（野花菖蒲）

万葉集等にも歌われているアヤメ科の多年草「ハナショウブ（野花菖蒲）」。「花かつみ」と呼ばれ、古来より「幻の花」として珍重されています。毎年6月中旬頃、鮮やかな紫色の花が水辺に咲き誇る姿を見ることができます。

## ごんぎつねのふる里を楽しむ

## 新美南吉生家

新美南吉（本名新美八）は大正2年7月30日、父渡辺多蔵、母り糸の次男としてこの家に生まれました。正面から見て左が母志志の下駄屋、右が父多蔵の畳屋です。（半田市ホームページより抜粋）

## 新美南吉養家（かみや美術館分館）

南吉の実母子糸の実家（新美家）。大正10年7月、小学校2年生の南吉は、血のつながらない祖母新美志志の養子となり、この家で暮らし始めましたが、4ヶ月ほどで父のもとに戻りました。当時の農家の様子を伝える童話の舞台で、「小さい太郎の悲しみ」などの作品に登場します。（半田市ホームページより抜粋）

## 矢勝川の彼岸花

ごんぎつねで「兵十」がはりきり綱をしかける川の舞台といわれています。作品にちなんで200万本もの彼岸花が植えられ、秋には堤防を真っ赤に染め上げます。

## 新美南吉記念館

南吉の生涯を綴った記念館。自筆の原稿や日記、手紙などが展示され、南吉の文学活動や生い立ちを知ることができます。なだらかな丘の風景にとけ込み、芝生におおわれた半地下の建物に印象的です。

### 新美南吉生家

### 矢勝川の彼岸花

### 新美南吉記念館

### 新美南吉養家

## 花のある風景を楽しむ

### ごんぎつねのふる里を楽しむ

知多半島の季節感あふれる豊かな自然と、花に彩られた風景を楽しむ。

## 花のある風景を楽しむ

### 大倉公園（つつじ）

### 佐布里池（梅林）

## 花のある風景を楽しむ

### 花かつみ園（野花菖蒲）

### 竜町田湿地（湿生植物）